



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久(APIR 研究統括)

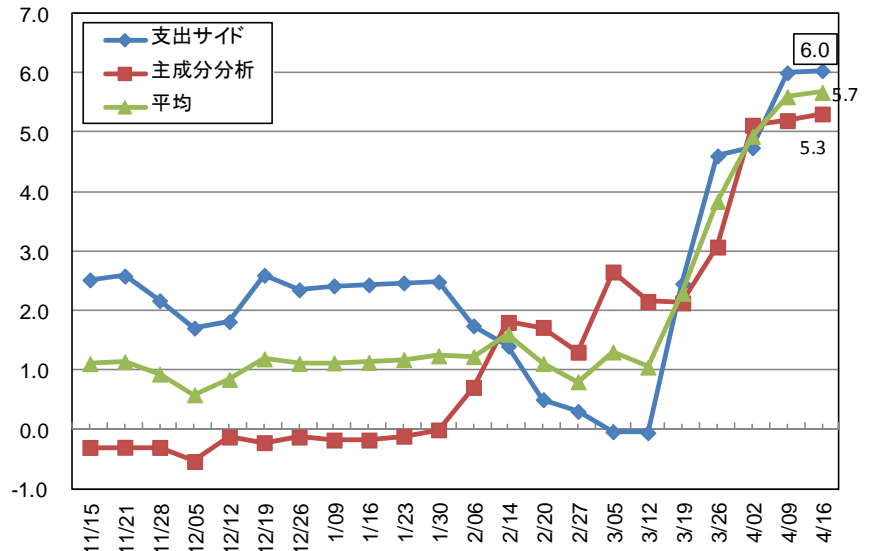
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail:inada-y@apir.co.jp

# 日本経済(週次)予測(2012年4月16日)

## ポイント

- ▶先週は 3 月の公共工事請負、景気ウォッチャー調査、国内企業物価指数、輸出入物価指数、2 月の民間機械受注、情報サービス業売上高、及び国際収支状況が更新された。
- ▶新たに発表された月次指標を更新した今週の超短期モデル(支出サイド)は、1-3 月期の実質 GDP 成長率を、内需は引き続き拡大し、純輸出も反転拡大するため前期比年率+6.0%と予測する。
- ▶データ更新により民間企業設備と純輸出の予測値が影響を受けるが、いずれも事前予測値と大きな変化がなかった。このため先週の成長率予測から変化なしである。
- ▶最新(4 月)のマーケットコンセンサスによれば、1-3 月期実質 GDP 成長率は+2.48%であり前月調査からは若干上方修正されているが、超短期モデル予測に比して 2%台と低い水準にとどまっている。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2012Q1 (%、前期比年率換算)



## ＜1-3 月期実質 GDP 成長率予測は 4 月のマーケットコンセンサスを大幅に上回る＞

先週(4/9-4/13)は 3 月の公共工事請負、景気ウォッチャー調査、国内企業物価指数、輸出入物価指数、2 月の民間機械受注、情報サービス業売上高、及び国際収支状況が更新された。

民間企業設備投資の先行指標であるコア機械受注は、2 月に前月比+4.8%増加し 2 カ月連続のプラスとなった。1-2 月平均値は 10-12 月期平均比+5.4%増加しており、引き続き緩やかな増加トレンドが続いている。3 月の景気ウォッチャー調査によると、街角の景況感を示す現状判断 DI は前月比 5.9 ポイント上昇し 51.8 となった。2 カ月連続の改善。また、横ばいを示す 50 を 8 カ月ぶりに上回った。

3 月の国内企業物価指数は原油高を背景に前月比+0.6%と 2 カ月連続のプラスとなった。前年比も+0.6%と 18 カ月連続のプラス。2 月の経常収支は 1 兆 1,778 億円と 2 カ月ぶりの黒字となったが前年比-30.7%縮小した。所得収支黒字幅は前年比拡大したものの、貿易・サービス収支が赤字に転じたためである。

新たに発表された月次指標を更新した今週(4/16)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3 月期の実質 GDP 成長率(年率換算)を、内需は引き続き拡大し、純輸出も反転拡大するため+6.0%と予測する。データ更新により民間企業設備と純輸出の予測値が影響を受けるが、事前予測値と大きな変化がなかった。このため先週の予測から変化なしである。4 月 12 日に発表されたマーケットコンセンサス(ESP フォーキャスト調査)によれば、1-3 月期実質 GDP 成長率は+2.48%であり前月調査(+2.35%)からは若干上方修正されているが、この間、超短期モデル予測が 4 週連続で 6%にまで上方修正されたのに対して依然として 2%台にとどまっている。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6441-0550